

### あらたな生活様式へ 地域交通網の推進を

大泉 日出男



**問** ①タクシー利用助成金事業の実態調査と利用状況。②タクシー宅配の導入検討は③MaaS協議会をうけ当市の取組みは。

**答** ①平成29年から比べ約2倍の795人の方が利用、今後は検討委員会を設置。②国の動向をふまえ推移を見守る③意見交換をし、構成団体と研究したい。

#### ◆あらたな生活様式での消費、商品券の促進を

**問** ①今回の商品券を含め課題は。②当市独自のGo To Eatキャンペーンの展開は。

**答** ①完売にはならず2回目の販売は完売。HP広報紙で再度周知をしていく。②感染防止策を徹底した上で商工会が本事業を展開し易いよう後押しする。

#### ◆高齢者対象へエアコン補助金を

**問** 直近3ヶ月で65歳以上の方が熱中症で緊急搬送されたのは何名で、その内エアコン設備が入っていなかった方は何名だったか。

**答** 9人でその内エアコン未設置者数は不明。防災無線で注意喚起し早めの予防策を周知。

### 信号機のない横断歩道の歩行者優先徹底、治水対策は

赤出川 義夫



**問** 昨年JAF公表の信号機のない横断歩道停止率、全国平均17.1%、埼玉県11.6%、私の調査では、吉川市4.2%と低い、市の取組は。

**答** 市としてもJAFの調査結果を承知している上で、横断歩道での歩行者優先の意識の定着を図るため、8月にホームページでの啓発、9/2イオンタウン吉川美南店内において警察とともにリーフレットなどを配り啓発活動を行った。

今後につきましても、警察とともに様々な機会を捉えて、歩行者への交通安全への周知とドライバーへの横断歩道停止の意識の定着に努めていく。

#### ◆治水・災害対策について

**問** 中川の堤防整備、高富～高久間の堤防高上げ工事の進捗状況は。水害・地震発生時の災害ごみ仮置場の受入時間は。民間の空地等、災害時利用協定の検討を。

**答** 中川の堤防高上げ工事要望について、現在、下流の八潮地域から順次、堤防工事を進めており、木売から高久にかけての具体的な着年時期は未定。災害ゴミの仮置場3カ所。受入時間は、柔軟に対応していきたい。

### 2事業者と災害協定締結 感染対策で車中泊避難も

降旗 聡



**問** 感染症対策が求められるなか、豪雨災害などの際の避難所開設のあり方について、細心の注意が求められている。市内事業者との協定締結の進捗と協定内容、一時的な車中泊避難についての見解は。

**答** 今年7月以降、新たに2事業者と協議を開始し、1事業者と協定を締結した。

現在、「洪水等の災害における一時避難場所施設利用に関する協定」を2事業者と締結している。

また、2つの施設で協議を進めている。

協議内容は、各事業者に承諾をいただいた範囲や条件で一時避難場所として、駐車場を含めた施設利用に向けて調整を図っている。

一時的な車中泊避難については、コロナ禍における大雨が予想される場合の避難において、2階以上の安全な場所への垂直避難や、親せきや友人宅などへの避難と同時に、車中泊についても分散避難の一つとして有効であると考えている。

しかし、移動中の車両水没事故、健康面やトイレの問題など課題があるので、注意喚起、啓発をしていきたい。

### なまりんバス貸出し拡大について

小野 潔



**問** 各自治会や自主防災組織から、なまりんバスを借りたいとの声があるが拡大しては。

**答** 一定の条件のもと拡大できるかについて検討していく。

#### ◆右折矢印信号・案内板の設置を

**問** 県道葛飾吉川松伏線の美南セキ薬局、ジュピター動物病院、吉川駅北口入口、北口スクランブル各交差点へ右折矢印信号を。一之橋手前に「車線減少」等の看板を。

**答** 吉川警察と協議しているが右折矢印信号は難しい。看板は協議する。

#### ◆中川堤防木売高久間の高上

**問** 高上げについて公明党矢倉参議院議員と国交省より話を聞いた、「早い時期に」との答えを頂いたが当市で得ている情報は。

**答** 工事時期は未定と聞いている。